



生活環境学科 資格のご紹介

キャリアの可能性を広げる





レクリエーション・インストラクター



資格概要

レクリエーション・インストラクターは、楽しさをとおした「心の元気づくり」を支援するために、ゲーム、歌、集団遊びやスポーツといったさまざまなレクリエーション活動を用いて一人ひとりのやる気を引き出し、人と人とのコミュニケーションを促進していく技術を身につけた者が認定される資格です。そして、人々の余暇生活の充実や運動・スポーツの普及発展をめざします。

レクリエーション・インストラクターのめざす力(知識と技術)は以下の通りです。

- 集団をリードし、一体感を生み出し、楽しい時間を演出する力
- 1対1、1対集団といった場面で、コミュニケーションを促進する力
- アイスブレイキングやホスピタリティなどのコミュニケーションスキルを応用する力
- 対象や支援の目的に合わせたプログラムを企画・展開する力
- 既存のアクティビティを、対象に合ったアクティビティへとアレンジする力
- 対象者の主体性や協調性を引き出す力
- 施設や教室、クラブなどにおけるレクリエーションの時間を企画・運営する力

資格を取るには

レクリエーション・インストラクターは、都道府県レクリエーション協会が主催で実施する講座と、日本レクリエーション協会と都道府県レクリエーション協会が協働で実施する講座を受講して審査(筆記・実技・活動レポートなど)を受け、合格すれば資格を取得することができます。本学は、日本レクリエーション協会から養成課程として認可されていますので、所定の単位(概論、実技、実習)を修得すれば、協会から資格証が発行されます。

試験情報と難易度

別途資格試験はありませんので、授業を積極的に受け、現場でのリーダー体験などを経験してしっかりと単位をとってください。

資格を取得すれば

レクリエーションの資格は、地域活動やスポーツボランティア活動、福祉現場や教育現場、あるいはそれぞれの職場で活用され、工夫(応用)されて様々な場面で役立っています。臨機応変に支援内容を変更していくのもポイントです。レクリエーションの支援には、種類によって、コミュニケーションを促進させるものもあれば、協調性や運動能力を高める(運動機能を改善する)効果があるものなどがあります。一見「遊び」としてとらわれがちですが、支援の裏付けとなる理論があって実践されています。



スポーツ・レクリエーション指導者



資格概要

スポーツ・レクリエーション指導者は、運動に親しんでいない人たちを含め、だれもがスポーツ・レクリエーションを継続的に楽しむことができる場をつくり出す指導者です。人々の「楽しさ」を重視して、無理なく主体的にスポーツ・レクリエーション活動への参加を促し、人と人との自然な交流を促進できるコミュニケーションスキルを持ち、その人に合ったスポーツ・レクリエーション活動の提供ができる者に認定される資格です。

スポーツ・レクリエーション指導者のめざす力(知識と技術)

- 幼児期、学童期、高齢期など、ステージごとの体の仕組みなどの生理学を理解し、それに応じて運動を提供できる力
- その人に適したスポーツ・レクリエーション活動を適した展開で提供できる力
- スポーツ・レクリエーション活動がもたらす身体的効果や、危険を回避して提供する運動方法など、生理学の知識を活かして実施する力
- スポーツ・レクリエーション活動がもたらす心理的効果、スポーツから距離を置いている人への効果的なアプローチ方法などの知識を活かして対象者とかわる力
- スポーツから距離を置いている人のやる気を引き出し、動機づけを高めていくことができる力

資格を取るには

本学は、日本レクリエーション協会から養成課程として認可されていますので、所定の単位(概論、実技、実習、生涯スポーツ論)を修得すれば、協会から資格証が発行されます。

試験情報と難易度

別途資格試験はありませんので、授業を積極的に受け、現場でのリーダー体験などを経験してしっかりと単位をとってください。

資格を取得すれば

地域活動、スポーツボランティア活動、健康増進(事業)活動などで役立つ資格です。さまざまな世代の健康的な生活習慣をサポートします。定期的な運動・スポーツ実践ができるよう支援し、それぞれの健康の維持・増進に貢献することができます。



フードスペシャリスト



資格概要

フードスペシャリストとは、食の本質が「おいしさ」、「楽しさ」、「おもてなし」にあることを学び、食に関する幅広い知識と技術を身につけた食の専門家です。栄養士や管理栄養士のカリキュラムでは、健康維持に必要な栄養素供給源として食べ物を位置付けられています。これに対して、食のQOL向上を目指した「フードコーディネーター論」、食品開発に欠かせない味わいを評価する「食品の官能評価・鑑別演習」、それを支える「調理学」などの教育に力を入れています。

資格を取るには

単に、テキストや研修を受けた人が得られる資格ではなく、日本フードスペシャリスト協会に認定を得た大学等で学ぶことで初めて得られる資格です。本学では、順調に単位を取得すれば3年生で受験が可能です。試験は毎年1回、原則として12月の第3日曜日に実施されます。

試験情報と難易度

フードスペシャリストの資格認定証は、試験に合格して、必修科目の取得と養成機関の卒業を確認して交付されます。本学の合格率は平均80～90%です。

資格を取得すれば

食品の開発製造、流通、販売、外食などを担う食品産業をはじめ、食関係の広範な分野での活躍が期待されています。特に、生活環境学科では、「食品の官能評価・鑑別演習」の授業を学び、食品開発に活かすことに力を入れていますので、就職活動でアピールすることができます。



甲南女子大学生生活環境



専門フードスペシャリスト

資格概要

専門フードスペシャリスト資格は、フードスペシャリスト資格の上位資格として、平成26年度に創設されたものです。この資格は、フードスペシャリスト資格に比べ、より専門性や実用性が高いものとなっており、フードスペシャリスト資格を取得済み、または取得見込みの人がチャレンジすることができます。

次の2種の資格が用意されています。

- ①専門フードスペシャリスト(食品開発)資格
食品の新商品開発や品質管理、販売、流通などに役立つ知識や技術に係る資格
- ②専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)資格
食商品の流通や販売、外食産業におけるコーディネーション等に役立つ知識や技術に係る資格

資格を取るには

フードスペシャリスト資格認定試験を同時に受験する、または試験に既に合格している人が受験できます。

試験情報と難易度

合格率は、20～30%と大変難しい資格です。

資格を取得すれば

取得が難しい資格であるからこそ、専門的な知識を有することが証明できます。

和食文化継承リーダー



資格概要

和食文化継承リーダー研修は、国の事業として(農林水産省主催)、子どもたちや子育て世代に対して和食文化を伝える人材を全国に育成するために実施されています。

資格を取るには

受講者は、基礎研修・実践研修・実地研修の各プログラムを受講し、全ての課程を修了した受講生に対して、「和食文化継承リーダー」として認定証が発行されます。生活環境学科では、和食について学び、高校生、中学生、小学生を対象に実習などの継承活動を体験することができるため、認定研修を受講することができます。農林水産省から8月頃にその年の情報が開示されます。8月から2月の間に、基礎研修、実践研修、実地研修の3ステップを経て合格後、和食文化継承リーダーに認定されます。

試験情報と難易度

資格を取得すれば

和食文化の保護・継承につなげていくための様々な場で、活躍することができます。また、コミュニケーション力、リーダーシップ力を身に付けることができます。

取得をサポートする資格



資格科目としてカリキュラム表には掲載していませんが、生活環境学科ではたくさんの資格を取得することができます。

分野を超えた資格の取得も可能です。

ぜひ興味のある資格にチャレンジして、あなたの可能性を広げてください！

★ここに掲載していない資格も、希望があれば先生に相談してみてくださいね！



リビングスタイリスト



資格概要

住生活商品の知識と販売技能を持っていることを示す資格です。社会人として必要な知識が含まれています。日本ライフスタイル協会が認定している民間資格ですが、幅広い業界に対応できる資格です。

資格を取るには

住居系の授業を受講していると内容がわかりやすいです。3年後期には住居系ゼミを中心に勉強会を実施しています。1,2級用の公式テキストのみ購入をしてもらっています。1級は2級合格者しか受験できず、内容は論文形式ですが、十分目指すことが可能です。

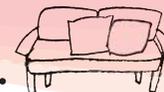
試験情報と難易度

2級の合格率は75%、1級は50%と言われますが、本学科では2級も1級もこれまで不合格者はいません。団体受験を行っていますので、本学で受験可能です。受験料は通常は6,820円(2級)ですが、6,160円と割安になります。

資格を取得すれば

住生活商品を扱う社会人として、必要な知識を有していると証明することができます。認定証が届き、更新等の必要もありません。比較的取得が容易な資格ですが、この資格を足掛かりにして、住居系の企業へ就職し、さらにステップアップしていくと良いと思います。

インテリアコーディネーター



資格概要

快適で暮らしやすい住空間づくりのために、住む人に最も適したインテリア素材を選び、提案するものです。インテリア産業協会が認定している民間資格ですが、インテリア分野では最もメジャーな資格の一つです。

資格を取るには

試験範囲は大変幅広いので、住居分野の講義、演習のすべてに関連しています。また色彩や織物・編み物素材の知識も求められます。3年時には住居系ゼミを中心に勉強会を実施しています。

試験情報と難易度

1次試験(学科)と、1次試験合格後に受験できる2次試験(論文・プレゼンテーション図面)があり、1次試験の合格率は35%と高めですが、その8割以上がすでに住居系の職業を持った人で占められています。住居系の職業に就いた後にスキルアップすることが多いと考えられます。試験は年に1度のみ実施され、受験料は14,850円ですが、1次試験のみの受験(11,550円)も可能です。

資格を取得すれば

住宅関連企業、工務店、ディベロッパー、インテリア関係の企業へ就職する際に有利になることもあり、また独立してフリーランスで働く人もいます。但し、合格後登録料が必要であり、常に新しい知識を得ておくために5年ごとの更新も求められます。

福祉住環境コーディネーター



資格概要

住宅だけでなく福祉や法律の知識も求められます。しかし少子高齢社会では、住関連企業の就職に欠かせない内容です。東京商工会議所が主催しています。1級の難度は非常に高いですが、2級、3級が目指せます。

資格を取るには

「居住環境論」「ユニバーサルデザイン論」などは関連内容を含みます。また公式テキストの購入は必須です。3年時には住居系ゼミを中心に勉強会を実施しています。

試験情報と難易度

試験は年に2度受験の機会があります。PCによるマーク式で行われます。自宅受験も可能です。7割正解すれば合格です。勉強しないで合格できる資格ではありません。3級の全国合格率は4割程度となっています。勉強会参加者の合格率はかなり高いです。受験料は3級5,500円、2級7,700円です。

資格を取得すれば

資格を取得すると、認定証が送付されます。履歴書への記載も可能です。この資格だけで仕事ができるわけではありませんが、この資格を足掛かりとしてさらにステップアップすることが可能です。就職活動にも役立つ資格です。

色彩検定

資格概要

色彩検定は色についての知識が無く基礎からしっかり学びたい方や、スキルアップを目指したい方など、様々な方が受検できます。

資格を取るには

「カラーコーディネート論」「カラーコーディネート実習」などが関連した内容を多く含みます。色彩検定は公式テキスト(1級~3級、UC級)からの問題が多いので、しっかりと読み込んでください。初めて色を学ぶ方向け(3級)、実務に応用したい方向け(2級)、プロフェッショナル向け(1級)、福祉や公共、設計者向け(UC級)があります。

試験情報と難易度

試験は年に2回実施されます。6月の夏期検定(3級・2級・UC級)と11月の冬期検定(全級)があります。正答率7割前後で合格できるようになっています。また、試験そのものはマークシート方式です。1級においては、試験内容は1次試験で筆記試験、2次試験で実技試験を受験することになります。過去問題をしっかりと勉強しておけば、合格は難しくはありません。

資格を取得すれば

色彩検定1級に合格すると、「色彩講師養成講座」を受けることが可能です。また、色彩検定1級を持っていると、独立する時に役立つこともあります。特にインテリアコーディネーターや、ファッション関係の業界で独立する際には、色についての深く専門的な知識があると、強力な武器になります。

色彩技能パーソナルカラー検定

資格概要

色の四属性(色相・明度・彩度・清濁)の違いによる客観的な法則性から、顔の見え方をわかりやすく説明し、似合う色の提案やコーディネートする技能が身につく資格です。

資格を取るには

「カラーコーディネート論」「カラーコーディネート実習」などが関連した内容を多く含みます。実践的に「色を見分ける」ための目の訓練を行います。色の属性、色のものでさしや色彩の心理効果、配色技法など、これら基礎理論から、イメージを的確にとらえた色選択が行える技能、商品の特性と色の関係性までの技術を学びます。

試験情報と難易度

色彩技能パーソナルカラー検定®はモジュール1(初級)・2(中級)・3(上級)の単位制で、モジュール1からモジュール3まで順に取得するシステムです。モジュール3(上級)の合格者には、カラーに関わる他業種において、色彩効果のアドバイスができる十分な知識と技能を持つ者として当協会が認定するパーソナルカラーアドバイザー®の称号が与えられます。

資格を取得すれば

客観的な根拠に基づいた共通する心理効果(属性の反応による色白効果、血色効果、小顔効果、つや出し効果など)を踏まえたアドバイスができることから、販売員のスキルとして、また、色に関わる商品開発や企画設計に大変有効です。

ファイナンシャル・プランナー (FP)

資格概要

日常生活で個人がかかわるお金についてほぼ網羅する資格です。社会保険や民間保険、金融商品、不動産、税金、年金、ローン、相続など人生のさまざまなタイミングのお金問題を扱うので、資格の勉強が実生活に直接役立ちます。

資格を取るには

「ファイナンス論」「社会保障論」などの経済系の授業が役立ちます。公式テキストはありません。さまざまなタイプの対策問題集があるので、自分にあったものを選びましょう。ゼミでは勉強会をしています。

試験情報と難易度

日本FP協会と一般社団法人金融財政事情研究会の2団体が実施しています。3級は初心者向けで、合格率は約80%です。2級は、3級に比べてより専門的なので、就職に有利にはなりませんが、合格率は約40~50%と難しいです。ともに学科試験と実技試験があります。

資格を取得すれば

国家試験です。合格すると合格証が発行され、等級ごとに「ファイナンシャル・プランニング技能士」と名乗ることができ、履歴書や名刺に記載できます。銀行や証券会社の業務に直結するので、特に金融機関の就職に有利になります。

eco検定(環境社会検定試験)

資格概要

環境問題に対する幅広い知識が求められる検定試験です。単に環境問題についてだけでなく、ビジネスや商品と環境問題との関連も意識した内容です。多くの企業でも入社してから受験を推奨されることがあります。

資格を取るには

「生活環境学入門」「暮らしと環境」などが関連した内容を多く含みます。公式テキストからの問題が多いので、しっかりと読み込んでください。また、時事問題からの出題もありますので、ニュースなどもチェックしましょう。

試験情報と難易度

試験は年に2度受験の機会があります。PCによる多肢選択式で、7割正解すれば合格します。合格率は60~70%です。過去問題をしっかりと勉強しておけば、合格は難しくはありません。受験料は5,500円です。

資格を取得すれば

eco検定の合格者はエコピープルに登録すれば、名刺などに検定取得の証であるエコピープルマークを使用できるようになります。就職活動するうえで環境保全に対する取り組みを重視している企業に対してアピールすることができます。eco検定の知識は社会人の基礎知識としても重要です。

合格者の声

レクリエーション・インストラクターの資格を取得しました。今では、実習での経験を活かして、実習先でもあった放課後こども教室にアルバイトとして活動するなど新たなことに挑戦しています。そして、どのようなレクリエーション支援ができるのかをいろいろと考えています。
(4年 A.T.)

スポーツ・レクリエーション指導者の資格を取得しました。将来はスポーツに関連する仕事をしたいと思っていたため、この経験を活かし、希望通りの内定を得られました。今後もこの学びを活用し、仕事を通して運動の楽しさを広めるとい夢を叶えるべく頑張ります。
(4年 K.O.)

フードスペシャリスト資格を取得するためには、食の安全性、栄養、コーディネートや調理など授業で単位を取得します。どの分野を専攻していても受講可能で、先生が手厚く教えてくれるので難しい内容も安心して下さい。学びを通し、ゼミの活動では産官学連携がスムーズに進み、就職活動では企業にアピールできました。今後は、就職先で活かし、自分自身や周囲の人を豊かにする活動をしたいです。少しでも興味があれば挑戦すべき資格です。
(4年 K.S.)



専門フードスペシャリストは、難関度が高い資格だったので、食生活や栄養はもちろん、日本の外食産業の歴史や文化、流通、おもてなしの方法まで幅広く勉強しました。資格取得後は、料理の基礎技術、食材や調理法などの科学的な学びもあり、より生活に密着した知識を習得することができました。持病で食事に悩みを抱えている人がいれば、学んだ知識を活かし、食事を楽しめるようにアドバイスができるようになりました。
(卒業生 S.T.)

リビングスタイリスト2級と福祉住環境コーディネーター3級、色彩検定2級を取得しました。希望していたインテリア企業のショールームに内定し、現在は就職先に関連した卒論に取り組んでいます。就職活動にとっても役立ったので、資格取得を頑張っよかったと思っています。
(4年 M.M.)

リビングスタイリスト2級に合格し、住関係の就職先に内定しました。インテリアコーディネーターの勉強会に参加し、勉強を頑張ってきたので、就職後はインテリアコーディネーター資格も取得できるように、さらに頑張りたいと思っています。
(4年 S.I.)

和食は地域や家庭ごとの習慣の違い、それぞれがもつ感性や個性、記憶を引き出すところに魅力があると感じ、次世代に継承していく大切さを感じました。和食の継承活動をしている大学であるからこそ、和食文化継承リーダーの講座を受けることができることに意義を感じました。様々な世代の人と和食を通して関わった経験が就職活動でも大いに活かされました。
(4年 R.K.)

私はファッションコーディネーターにおける色選びの知識を得るために色彩検定を受験しました。資格勉強をする中で、色の心理的効果や配色などの色彩に関する幅広い知識を短期間で身につけることができました。
(4年 M.T.)

色彩検定2級 色彩検定3級 色彩技能パーソナル検定 ファイナンシャル・プランナー3級に合格しました。自分の将来のために資格取得してよかったと思っています。現在、福祉住環境コーディネーター検定の勉強会に参加しています。後期にもさらにリビングスタイリスト検定に挑戦するつもりです。
(3年 Y.Y.)



パーソナルカラー検定は授業をきっかけに取得しようと思いました。授業として資格のサポートをしてもらえるのに加えて、勉強会も開かれるので、分からないことがあればすぐに質問できる環境です。また、授業では実技も行われるので、色彩検定3級に当たるモジュール1の対策だけでなくそれ以降の資格取得にも役立ちます。資格を受けること自体が初めてだったのですが、しっかり要点を押えられていたので、焦ることなく問題を解くことが出来ました。
(4年 M.S.)

私はアパレルとインテリアの二つに興味があったため、どちらにも通用する色彩検定にチャレンジし資格を取得しました。同じ色でも濃淡や明度の違いにより与える印象は変わるので、色は趣き深いと感じました。
(4年 H.K.)

FP3級はやる気さえあれば、誰にでも取得することができます。正直、私は勉強が得意ではありません。しかし、先生の手厚いサポートのもと、コツコツと毎日勉強を続けたことで無事合格することができました。
(4年 K.N.)

